

第2学年国語科学習指導案

日時 平成24年 9月28日(金) 5校時
児童 男子 3名 女子 4名 計 7名
指導者 小野博司

- 1 単元名 調べたことを 伝える文を考えて 書こう
- 2 学習材名 「どうぶつ園のじゅうい」(筆者:植田美弥)
- 3 身に付けさせたい言語能力とそれに迫るための中核となる言語活動及び言語活動の特徴

言語能力

「いつもすること」と「特別にすること」を区別しながら内容の大体を読む力(読むことイ)
自分の調べた仕事を分かり易く紹介するために、どのようなことをどのような順序で書くか、簡単な構成を考える力(書くことイ)

言語活動

仕事を紹介する紹介文を書く。
調べた仕事を紹介するための技(取材の視点、表現様式)を学び、「はじめ—中—おわり」の構成で「しごとしようかい文」を書く。

特徴

・時を表す言葉や文末表現に注意して読むことで、どのようなことが、どのような順序で書かれているのかを理解することができる。
・家族や地域の方にインタビューすることで、必要な事柄を集めることができる。
・分かり易く伝える文を書くために、簡単な構成を考えて、順序よく書くことができる。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、「たんぼのちえ」の学習において、時間的順序に沿ってちえを読み取る学習を行ってきた。この学習を通して、時間的な順序を表す言葉や様子と理由を表す言葉に着目して読み取る力がついてきた。また、教科書の文型をもとにしながら、あるいは提示した様式をもとにしながら、たんぼの様子やそうなる理由、そして問いの文を書く力がついてきた。しかし、主述が整っていない文章、書くべき内容からずれている文章なども見られ、書く力が十分とはいえない児童も見られる。これは、必要なことを選択したり、意味を考えたりしながら順序よく書くという力が十分に身につけていないためであると考えられる。このような実態を踏まえ、身に付けさせたい言語能力に迫るために必要な言語活動を押さえていきたい。(指導計画参照)

(2) 学習材について

本単元で取り扱う学習材「どうぶつ園のじゅうい」は、文章全体が獣医の一日の仕事日記のように書かれていることから、時間的な順序を手がかりにその仕事内容をとらえることができる。また、全体の構成としてみると、毎日の仕事と特別な仕事を文末表現で書き分けるとともに、仕事と理由の繰り返しによる事例として書かれているので、これらを事柄の順序としてとらえさせることもできる。そして、これらの文章構成を書く活動に結び付けることにより、事柄の順序に沿って書く力を高めることが期待できる。以上のことから、本学習材の内容や書かれている事柄の順序について学んだことを書く活動につなげることで、本単元で身に付けさせたい言語能力に迫ることができると考える。

(3) 指導について

本単元では、事柄の順序に沿って簡単な構成で考えて書く力をつけるために、事柄の説明の順序を活かした「しごとしようかい文を書く」という言語活動を通して、単元でねらう言語能力に迫っていきたい。そのために、各段階において、以下のことを工夫していきたい。

つかむ段階では、生活科の地域探検で調べた地域の人たちの「仕事」について紹介する学習と関連付け、紹介文を書くための技を学ぶという目的で中核となる言語活動を設定したい。深める段階では、学習材文「どうぶつ園のじゅうい」と出合わせ、動物園の獣医の「仕事」について、どんな順序で何が書かれているかを学習することが、地域の人たちの仕事を調べる視点を学ぶことになるという結び付きをもたせていきたい。その際、毎日の仕事と特別な仕事を文末表現の違いを手がかりに読み取らせたい。また、「毎日の仕事の内容とその理由」「動物の様子と動物の特徴を生かした手当て」については、関連させた書き方にリライアントさせることで、読み取ったことを関連付ける際の思考力・判断力・表現力を高めていきたい。活かす段階では、深める段階で学んだ調べる視点や学習シートの様式を活用して、必要な事柄を選んだり、文章構成を活かして書いたりすることで、事柄の順序に沿って文章を書く際の思考力・判断力・表現力を高めていきたい。そして、自分の係の仕事、家での自分の仕事、保護者の仕事、地域の人たちの仕事というように、自分との関わりにおける世界を広げながら、主体的に学習を進めることができるようにしたい。広げる段階では、「しごとしようかい文」を友だち同士で紹介し合ったり、言葉の森集会で全校のみんなに発表したりすることを通して、学習への満足感や充実感を高めていきたい。

5 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】・伝えたいと思ったことを調べようとしたり、伝えるための構成を考えて書こうとしたりする。

【読むこと】・文章表現上の順序にしたがって、書かれている事柄を理解することができる。(イ)

【書くこと】・書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。(ア)

・伝えたい思いや考えを明確に表すために必要な情報を順序よく文章に書くことができる。(イ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】・文末表現の働きに気付くことができる。【(1) イーア】

6 単元の評価の規準

【国語への関心・意欲・態度】・伝えたいと思ったことを調べたり、伝えたいという願いをもって書こうとしたりしている。

【読む能力】・何について、どのようなことが、どのような順序で述べられているのかを理解している。(イ)

【書く能力】・調べて分かったことや感じたことなどを短い文や箇条書きでメモしている。(ア)

・集めた事柄について、時間の経過や内容のまとまりに即して「はじめ—中—おわり」の順序で構成を考え、文章を書いている。(イ)

【言語についての知識・理解・技能】・言葉には、事柄の内容を表したり、経験したことを表現したり伝えたりする働きがあることに気付いて文章を書いている。【(1) イーア】

7 単元の指導計画（12時間）※本時は太字部分

段階（時数）	主な学習活動	評価規準（評価方法）	身に付けさせたい言語能力に迫るための言語活動の位置付け	他教科との関連 生活科「もっと知りたい地域で働く人たち」の主な学習活動
<p>【つかむ】 中核となる言語活動を知り、学習の見通しをもつ。 (1)</p>	<p>2①生活科単元のまとめとして紹介文を書くための技を学ぶという学習計画を立て、学習の見通しをもつ。</p> <p>地域探検で調べる仕事を紹介する文を書くための技を学ぼう。</p>	<p>①地域探検をするために必要な技を学ぶという見通しをもっている。 (発言、シート)【関】</p>	<p>【中核となる言語活動】仕事を紹介する紹介文を書く。 ・取材するための視点→学習材の書かれている時間的な順序や事柄の順序を活かす。 ・視点に沿ったメモの仕方→学習材の書き抜きを活かす。 ・紹介文の表現様式→学習材の構成をもとに、3つのまとまりに書く内容をつかむ。</p>	<p>71学期の探検をも期は働く人々の様子を知る計画を</p>
<p>【深める】 学習材を読んで、取材の視点や文章を書くときの構成をとらえる。 (5)</p>	<p>3②「とうふつ園のしゅうい」を読み、全体の構成を知る。</p> <p>4③中の部分に書かれている内容と順序を調べ、表にまとめる。</p> <p>5・6④⑤3つの事例について、仕事と理由の関係を考えながらリライトする。</p> <p>7⑥獣医の仕事を考えて、終わりの部分の文章を書き足す。</p>	<p>②文章を3つのまとまりに分け、「はじめ」の内容をまとめて書いている。 (発言、シート)【読-1】</p> <p>③「中」に書かれている順序に沿って内容を調べ、必要な事柄を書き抜いている。 (発言、シート)【読-2】</p> <p>④⑤文型に沿って、必要な事柄をまとめた文を書いている。 (シート)【読-3】</p> <p>⑥「おわり」に書く事柄が分かり、その内容に沿って文章を書き足している。 (シート)【読-4】</p>	<p>②：☆形式段落に分けることができる。 ・1字下がりを手がかりに分ける。 ★「はじめ—中—終わり」のまとまりに分けることができる。 ◇時間的な順序を表す言葉を見付けることができる。 ・「たんぼのちえ」での学習を活かし、時間的な順序を表す言葉を手がかりに分ける。</p> <p>③：◆書かれている事柄の順序が分かり、必要な事柄のメモの仕方がわかる。 ・書かれている事柄の順序を視点として書き抜く。</p> <p>④⑤：▽出来事—仕事—理由を関係付けた文への書き換え方がわかり、書き換えることができる。 ・文型を示し、それに沿って文を書く。</p> <p>⑥：▼「おわり」の部分には、自分の思いや考えを書くことができる。 ・モデル文を示し、どんな内容が書かれているかをつかむ。</p>	<p>8地域探検の計画を立てる。 ・会いに行く人 ・調べること(国語科で学んだ視点)</p> <p>11・12インタビューの仕方を確認し、練習をする。(家族にインタビューする)</p>
<p>【活かす】 深める段階での学びをもとに、取材したことを紹介文に書く。 (4)</p>	<p>9⑦自分の係の仕事について紹介文を書く。</p> <p>10⑧自分の家での仕事について紹介文を書く。</p> <p>13⑨おうちの人の仕事について紹介文を書く。</p> <p>18⑩地域探検で調べた中から書きたい仕事を選び、仕事について紹介文を書く。(本時)</p>	<p>⑦視点に沿ってメモを書き、様式にしたがって紹介文を書いている。 (シート、作品)【書-1】</p> <p>⑧視点に沿ってメモを書き、様式にしたがって自分で紹介文を書いている。 (シート、作品)【書-2】</p> <p>⑨インタビューメモをもとに、様式にしたがって紹介文を書いている。 (作品)【書-3】</p> <p>⑩インタビューメモをもとに、様式にしたがって自分で紹介文を書いている。 (作品)【書-4】</p>	<p>⑦：□視点に沿ったメモの書き方がわかる。 ・視点に沿って必要な事柄をメモする。 ■【深める】で学んだ様式にしたがって、つながりのある紹介文の書き方がわかる。</p> <p>⑧：□視点に沿ったメモをとることができる。 ■様式にしたがって、つながりのある紹介文を書くことができる。</p> <p>⑨：■取材した側の立場の書き方で、つながりのある紹介文の書き方がわかる。</p> <p>⑩：■取材した側の立場の書き方で、つながりのある紹介文を書くことができる。</p>	<p>14・15家族の仕事調べについて振り返り、地域探検でのインタビュー計画を立てる。</p> <p>16・17地域探検に出かける。</p> <p>20・21全校に伝えるために、もっと工夫できることはないか考え、補助資料を準備して練習する。</p> <p>22言葉の森集会で発表する。</p> <p>24探検でお世話になった方々へお礼状を</p>

<p>【広げる】 紹介文を交流し合うとともに、学んだことを価値づける。 (2)</p>	<p>19①紹介文を交流し合う。</p> <p>23②単元を振り返る。</p>	<p>①自分と友だちの思いや考え（終わり部分）を比べて感想を述べている。 (発表、シート)【読—5】</p> <p>②単元での学習を振り返り、学んだことを書いている。 (シート)【関—2】</p>	<p>①: ※自分と友だちの思いや考えを比べて感想を話すことができる。</p>	<p>書く。</p>
--	---	--	---	------------

【身に付けさせたい言語能力】

- 文章表現上の順序を考えながら内容の大体を読む力
- 書こうとする題材に必要な事柄をメモする力
- ◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて書く力

※○数字は国語時数、□数字は生活科と合計時数

8 本時の指導（10／12）

(1) 目標

- ・調べた事柄をもとに文章を書き、地域の人たちの仕事を紹介する文章を完成させることができる。

(2) 思考力・判断力・表現力を高める指導にあたって

本時は、地域探検で調べた中から書きたい仕事を選び、インタビューメモをもとに順序よく仕事を紹介する文章を書く力をつけさせたい。そのために、まず、「はじめ—中—おわり」に書く内容とその書き方について、今までの学習で活用してきた表をもとに確認させたい。また、前時に書いた紹介文の中でつまずきの原因となっていた部分を取り上げ、「分かりやすく伝えるために」という視点から、本時特に意識して書かせたいポイントについて考えさせたい。これらのポイントをもとに、自力で文章を書かせることで、事柄の順序に沿って文章を書くという思考力・判断力・表現力を高めていきたい。また、グループでの確かめの際には、子ども同士で明確に判断ができる視点を示して妥当性を検討させたり、友だちの思いや考え（おわりの部分）を交流したりすることで、文章のつながりや意味を考えたり、自分の思いや考えとの違いを認め合ったりさせていきたい。

(3) 展開

時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点
導入 ⑤	1 本時につながる学習の想起をする。 2 学習課題を確認する。 しょうかい文の書き方のわざをいかして、たんけんで調べたしごとのしょうかい文を書こ	【「しごとしょうかい文」の構成】 ・はじめ—中—おわり ・はじめ：内容の大まかな紹介 ・中：時間的な経過にしたがって、毎日の仕事、特別な仕事について、理由と関連させながら書く。 ・おわり：体験をもとにその仕事についての自分の思いや考えを書く。	・前時までに学んだことから、「しごとしょうかい文」を書くために必要な文章構成を確認する。 ・地域探検で調べた中の仕事を紹介することを確認する。
展開 32	3 地域探検で調べた仕事について、順序よく紹介する文章を書く。 (1) 自分が紹介したい仕事を確認する。 (2) 文章構成とその部分に書くべき内容をメモと対応させながら確認する。 (3) メモをもとに文章を書く。 (4) 出来上がった文章をグループで確かめ、交流する。	【仕事の紹介文を書く視点】 ・はじめ→仕事の名前 ・中→「いつもの仕事」について、仕事、理由の順で書く。 ・中→2つ目に「とくべつな仕事」について 出来事、仕事、理由を関連付けて書く。 ・おわり→初めて知ったときの驚き、不思議、気になったこと、もっと知りたいことなどについて書く。	・資料を提示し、「はじめ—中—おわり」の構成に沿って書く内容を確認する。 ・仕事内容によって文末表現が変わることを確認する。 ・前時の学習でつまずきが見られた部分を取り上げ、どう書けばよい 【具体的評価規準】 (3)の活動において（書く—4） A：はじめ—中—おわりの構成それぞれに書くべき事柄に沿って、文型をもとにつながりのある文章を書くとともに、文中に詳しく伝える言葉などを工夫して書いている。 B：はじめ—中—おわりの構成それぞれに書くべき事柄に沿って、文型をもとにつながりのある文章を書いている。 C 児への支援 学習シートとインタビューメモが対応するようにしるしをつけさせる。また、話し言葉で説明させてから文型に当てはめて書かせる。 ・同じ仕事について書いた人同士で、確かめの視点に沿って交流させる。また、最後に感想を一言言わせる。
まとめ ⑧	4 学習のまとめをする。 (1) 振り返りを記述する。 (2) 振り返りを交流する。 5 次時の学習内容を確認	・はじめ—中—おわりの構成に沿って、文章を書くことができた。 ・「～です」「～でした」と仕事に合わせて 文末表現を書き分けることができた。 ・仕事とその理由を関連付けて意味が伝わる文を書くことができた。 ・今までの学習と比べて、自分ができるようになったこと。 など	・学習内容に関わる事項や学習活動に対する自己評価として、振り返りを記述させる。 ・自分が出来たことや友達の頑張りを発表させ、認め高め合うようにさせる。